

京都府感染症対策委員会開催結果報告書

1 開催日時

平成29年3月29日（水） 14:00～16:00

2 開催場所

京都ガーデンパレス「鞍馬」

3 出席者

別添出席者名簿のとおり

4 内 容

(1) 開 会

あいさつ及び出席者紹介

(2) 議 題 （議事進行：一山 智 委員長）

【報告事項】

- ・感染症対策について
- ・エイズ対策について
- ・結核対策について
- ・肝炎対策について

【協議事項】

- ・感染症の予防に関する行動計画（仮）の策定について
- ・京都府結核対策推進指針（仮）の策定について

【主な意見等】

<感染症対策について>

- 感染症発生数は梅毒や麻しんが増加。梅毒の対策は。
→ 京都市内では検査体制確保している。梅毒検査は京都府も検討する。
- 多様な感染症の発生・拡大防止を目的に、感染症発生動向の情報収集体制を強化した指定提出機関制度を今年度新たに創設。

- 新型インフルエンザの市町村行動計画は全ての市町村で策定済み。来年度の備蓄薬の購入予定を報告。

<エイズ対策について>

- 京都府のエイズ検査件数は平成23年以降は増加傾向であったが、平成27年から減少。全国的には減少傾向にある。
- エイズ診療従事者の安全のため、府内12医療機関にHIV予防薬を配備。

<結核対策について>

- 結核患者発生状況について報告（新登録患者数は137人、前年より40人減少。罹患率は12.1）
結核罹患率は下げ止まりか。
→ 減少傾向にはあるが、国の目標の平成32年までに罹患率10.0は満たしていない。

<肝炎対策について>

- ハーボニー（C型肝炎治療薬）の偽造品とはどのようなものであったのか。
→ 卸売販売業者が偽物を販売する業者から仕入れたもの。
薬価が高価であるため、流通ルート上で偽物が混入する事案となった。
現在は、瓶で販売されなくなり、偽造品がすぐわかるような識別対策がされている。